

3. 事業計画

1. 互いに支え合い健やかに暮らせるまち

－福祉・健康への支援－

市民が「自助」「共助」「公助」の考えのもと、住み慣れた地域のなかでお互いに支え合い、健康で生きる喜びと希望をもって暮らせる、地域福祉社会の実現を目指します。

1. 社会福祉

- 住民による地域福祉の促進
- 地域における福祉サービスの提供体制の充実
- 地域福祉による快適なまちづくり
- 各種福祉計画の推進
- 低所得者の生活安定と自立支援

2. 子育て支援

- 地域における子育ての支援
- 健康の確保及び増進
- 教育環境の整備
- 仕事と子育ての両立支援の推進
- 子どもの安全の確保
- 要保護児童への取り組みの推進
- 経済的負担の軽減
- 地域福祉による快適なまちづくり

3. 高齢者支援

- 健康・生きがいづくりの推進
- 生活支援サービスの推進
- 介護予防の推進
- 認知症対策の推進
- 地域包括ケア体制の確立
- 地域福祉による快適なまちづくり

4. 障害者支援

- 共生社会の基盤づくり
- 相談・情報提供支援の推進
- 地域における生活支援
- 自立と社会参加の促進
- 地域福祉による快適なまちづくり

5. 健康づくり

- 親と子の健康づくりの推進
- 成人と高齢者の健康づくりの推進
- 食育の推進
- 健康づくり推進体制の整備
- 感染症対策の推進

6. 医療・救急・救助

- 医療連携の充実
- 救急医療体制の確保
- 救急・救助体制の充実

7. 国民健康保険

- 経営の健全化
- 医療費の適正化
- 健康管理対策の充実

8. 介護保険

- 介護予防の推進(再掲)
- 認知症対策の推進(再掲)
- 地域包括ケア体制の確立(再掲)
- 介護サービスの確保
- 介護保険の円滑な運営

9. 国民年金

- 市民の受給権確保

1 社会福祉

施策の基本的考え方

- 地域福祉への意識啓発を行う中で、住民やボランティア活動等との連携による地域での支え合いネットワークを充実させ、ハンディキャップを持つ全ての市民が社会参加しやすい環境づくりに努めます。
- 福祉情報の提供や相談機能・ケアマネジメント*体制の充実を図り、地域住民が福祉サービスを適切に利用できるよう努めます。
- 生活環境の整備や防災対策の推進を図るとともに、地域の生活課題に対する問題意識を共有し、関係団体の連携と住民参加により、誰もが安心して暮らせる環境づくりに努めます。
- 地域福祉推進計画をはじめとする各種福祉計画を着実に推進するため、定期的な進行管理や評価、見直しにより、これらの計画に基づく福祉サービスを住民に適切に提供できるよう努めます。
- 低所得者に対し、個別の世帯の実情に配慮し、各種の制度や諸施策を積極的に活用して適正な援護に努めるとともに、地域社会の一員として安定した生活を営めるよう、自立への助長を強力に進めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
社会福祉 01	01 住民による地域福祉の促進	01 「子育て・お助け隊」派遣事業 (再掲)
	02 地域における福祉サービスの提供体制の充実	
	03 地域福祉による快適なまちづくり	
	04 各種福祉計画の推進	01 福祉関係計画推進事業
	05 低所得者の生活安定と自立支援	

01 住民による地域福祉の促進

■「子育て・お助け隊」派遣事業 【事業No.01010101←No.01020101】再掲	担当部課係名	福祉部	児童育成課 北部幼児教育センター	ダイヤル	220-3398
--	--------	-----	---------------------	------	----------

04 各種福祉計画の推進

■福祉関係計画推進事業 【事業No.01010401】	担当部課係名	福祉部	総務課 計画係	ダイヤル	237-5388
--------------------------------	--------	-----	------------	------	----------

事業概要

「保健福祉計画推進会議」において「第2次健やかいきいき甲府プラン」の推進に関する評価、意見を聴取し、保健福祉施策の展開に市民の意見を反映させていく。

- 「第2次健やかいきいき甲府プラン」
計画の期間：平成22年度～平成26年度
計画の構成：地域福祉推進計画、保健計画、次世代育成支援行動計画、障害者福祉計画
- 「高齢者支援計画」（「第2次健やかいきいき甲府プラン」の個別計画の一つ）
計画の期間：平成24年度～平成26年度

現況と課題

- 健やかでいきいきとした市民生活を実現するための、全市民に直結した本市の保健福祉の基本計画であるため、市民の要望、意見等を取り入れながら、見直し策定及び計画推進を行っていく必要がある。

今後の事業展開

- 毎年度「保健福祉計画推進会議」において「第2次健やかいきいき甲府プラン」の推進に関する評価、意見を聴取し、保健福祉施策の展開に反映させる。

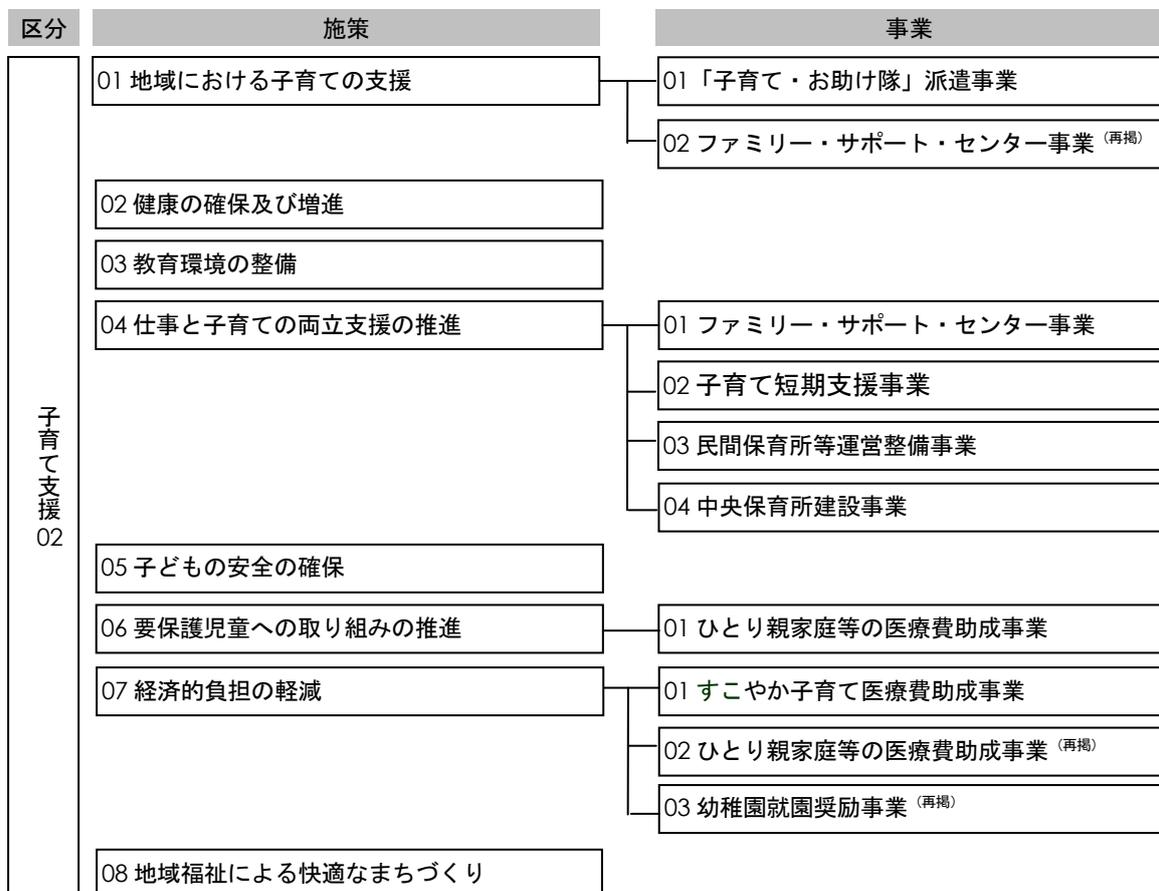
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
保健福祉計画 数値目標達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	221		221	7,649	221	

2 子育て支援

施策の基本的考え方

- 地域における子育て支援サービスの充実を図るとともに、児童の居場所づくりや交流活動等により、子どもの健全育成に向けた子育て支援を推進します。
- 妊娠期から継続した支援体制の整備と各種健康診査の充実を図るとともに、子どもの心身の健やかな育成のための相談や食に関する学習などにより、子どもと親の健康の確保と増進に努めます。
- 次代の担い手である子どもが個性豊かに生きる力が育まれるように、学校における教育環境等の整備や地域社会における健全育成等に努めます。
- 仕事と生活の調和のとれた働き方の実現を図るための意識啓発を行うとともに、多様な働き方に対応した子育て支援を展開するなど、仕事と子育ての両立支援を推進します。
- 子どもを交通事故から守るための交通安全教育を推進するとともに、犯罪等の被害から守るための活動を推進し、子どもの安全の確保に努めます。
- 児童虐待防止に向けて地域全体で子どもを守る支援体制を構築するとともに、ひとり親家庭等の自立支援を推進します。
- 子どもの健やかな成長と子育て家庭の経済的な支援を行うため、子育て医療や就園・就学などの負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりに努めます。
- 生活環境の整備や防災対策の推進を図るとともに、地域の生活課題に対する問題意識を共有し、関係団体の連携と住民参加により、誰もが安心して暮らせる環境づくりに努めます。

施策・事業の体系



01 地域における子育ての支援

■「子育て・お助け隊」派遣事業 【事業No.01020101】	担当部課係名	福祉部	児童育成課	ダイヤル	220-3398
			北部幼児教育センター		

事業概要

- 高齢者や育児経験者の知恵や経験を活かし、子育て家庭との世代間交流を促進しながら地域ぐるみで子育てを支援していく。併せて、高齢者の生きがいがづくりにつなげる。

現況と課題

- ボランティア・スタッフの高齢化もあり、新規スタッフの登録・育成が必要である。

今後の事業展開

- 地域に根ざした子育て支援を行えるグループの育成や地域活動を支援するための事業であるので、市民団体（愛育連合会）との支援活動、連携を図る中、全市的な市民運動として定着するよう、引き続き幅広い広報活動に努める。また、派遣スタッフについても、既存メンバーに加え、新たな登録を募るなど供給体制を整備し、利用の拡大につなげていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
「子育て・お助け隊」派遣件数 (件)	166	170	170	170	170	510
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	870		865	865	865	

■ファミリー・サポート・センター事業 【事業No.01020102←No.01020401】再掲	担当部課係名	福祉部	児童育成課	ダイヤル	223-2253
			中央部幼児教育センター		

04 仕事と子育ての両立支援の推進

■ファミリー・サポート・センター事業 【事業No.01020401】	担当部課係名	福祉部	児童育成課	ダイヤル	223- 2253
			中央部幼児教育センター		

事業概要

- 子供を預けたい人（依頼会員）と預かりたい人（協会員）とで組織する「ファミリー・サポートセンター」を運営して、会員相互による育児援助活動を支援し、育児世帯の負担軽減を図り、子育てしやすい環境づくりを行なう。

現況と課題

- 緊急時、休日、夜間等の依頼会員からのサポート依頼に対応可能な協会員の確保が困難な場合もあり、新規協会員の登録・育成が必要である。

今後の事業展開

- 核家族化の進展、労働時間の多様化に伴って子育て環境が年々厳しくなる中、柔軟なサポートがスムーズに行えるよう協会員の登録増加に努めるとともにひとり親家庭を対象とした利用料金助成制度の周知を図り、育児世帯を支援する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
育児支援活動の実績 (件)	1,108	900	2,000	2,000	2,000	6,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	4,588		4,711	4,711	4,711	

■子育て短期支援事業 【事業No.01020402】	担当部課係名	福祉部	児童保育課	ダイヤル	237- 5092
			保育係		

事業概要

- 児童（18歳未満）を養育している家庭の保護者が、疾病等により家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合、経済的な理由により緊急一時的に母子を保護する必要な場合等に、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行うことにより、仕事と子育ての両立支援・育児負担の軽減を図る。

現況と課題

- 引き続き市民への周知を図るとともに、利用希望者のニーズを的確に把握し応えていくことが必要である。

今後の事業展開

- 引き続き広報誌や保育所・幼稚園・保健センター・児童館・幼児教育センター等の施設を通して事業のPRに努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
利用者数	9	8	20	20	20	60
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	200		200	200	200	

■民間保育所等運営整備事業 【事業No.01020403】	担当部課係名	福祉部	児童保育課	ダイヤル	237-5669
			保育係		

事業概要

- 児童の健全育成を図るために、民間保育所の施設・設備等の整備改善等を促進し、環境整備を行う。また、民間保育所等の健全な運営を図るため保育所運営費に含まれない経費を助成し、もって保育の充実を図る。

現況と課題

- 管内の民間保育所には、建物の老朽化により耐震改修を要する施設があるため、今後も計画に沿って継続的に整備を実施する必要がある。

今後の事業展開

- 施設整備については、民間保育所と連携をとりながら、緊急性や必要性又は自己資金の保有状況を踏まえて計画的な施設整備改善に努めていく。また、運営費補助については、民間保育所等における質の高い保育サービス提供のための補助を継続していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
民間保育所の施設整備 ・改善した施設数	0	1	1	1	1	3
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	141,841		123,403	124,200	153,000	

■中央保育所建設事業 【事業No.01020404】	担当部課係名	福祉部	児童保育課	ダイヤル	237-5092
			子ども計画係		

事業概要

- 中央保育所の保育環境整備のため、平成 25 年度内に旧富士川小学校跡地へ移転建設を行う。

現況と課題

- 中央保育所は築 40 年余が経過し老朽が著しく、平成 15 年 9 月の耐震診断の結果においては地震の振動及び衝撃に対して倒壊または崩壊する危険性があり、補強が必要と判断されている。また、保護者の送迎車両の駐車場も極めて狭く、車両の出入りも危険であり、路上駐車等の問題も発生しているため、早急な対応が望まれる。

今後の事業展開

- 中央保育所の移転については、早期に地震に対して安全な保育環境を整備する必要があることから、平成 24 年度においては基本設計・実施設計と建設工事発注手続きを行い、平成 25 年度内の早期移転完了を目指す。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
事業の進捗率(%)	0	8	100	—	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	44,995		518,945	—	—	

06 要保護児童への取り組みの推進

■ひとり親家庭等医療費助成事業 【事業No.01020601】	担当部課係名	福祉部	児童育成課 子育て助成係	ダイヤル	237- 5674
------------------------------------	--------	-----	-----------------	------	--------------

事業概要

- 母子・父子家庭及び父母のない児童の精神的かつ経済的負担を軽減し、ひとり親と子の保健の向上と福祉の増進を図る。

現況と課題

- 医療費の増加を抑えるため、子育て世代に対し適正受診について、周知を図る必要がある。

今後の事業展開

- 持続可能な制度とするため、新規申請や現況届の際、「こども救急ガイドブック」、「適正受診啓発チラシ」を配布するとともに、市ホームページで適正受診について啓発を行っていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
助成件数 (件)	53,755	57,550	59,260	59,860	60,460				179,580
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)						計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度				
	146,706		150,951	152,451	153,951				

07 経済的負担の軽減

■すこやか子育て医療費助成事業 【事業No.01020701】	担当部課係名	福祉部	児童育成課	ダイヤルイン	237-5674
			子育て助成係		

事業概要

- 少子化対策及び子育て支援の一環として、小児のすこやかな成長に寄与するとともに、子どもをもつ家庭の経済的な負担を軽減することを目的とする。

現況と課題

- 医療費の増加を抑えるため、子育て世代に対し適正受診について、周知を図る必要がある。

今後の事業展開

- 持続可能な制度とするため、新規申請の際、「こども救急ガイドブック」、「適正受診啓発チラシ」を配布するとともに、市ホームページで適正受診について啓発を行っていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
助成件数 (件)	339,095	346,700	346,400	346,100	345,800				1,038,300
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)						計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	661,916		683,442	682,842	682,242	2,048,526			

■ひとり親家庭等医療費助成事業 【事業No.01020702←No.01020601】再掲	担当部課係名	福祉部	児童育成課	ダイヤルイン	237-5674
			子育て助成係		

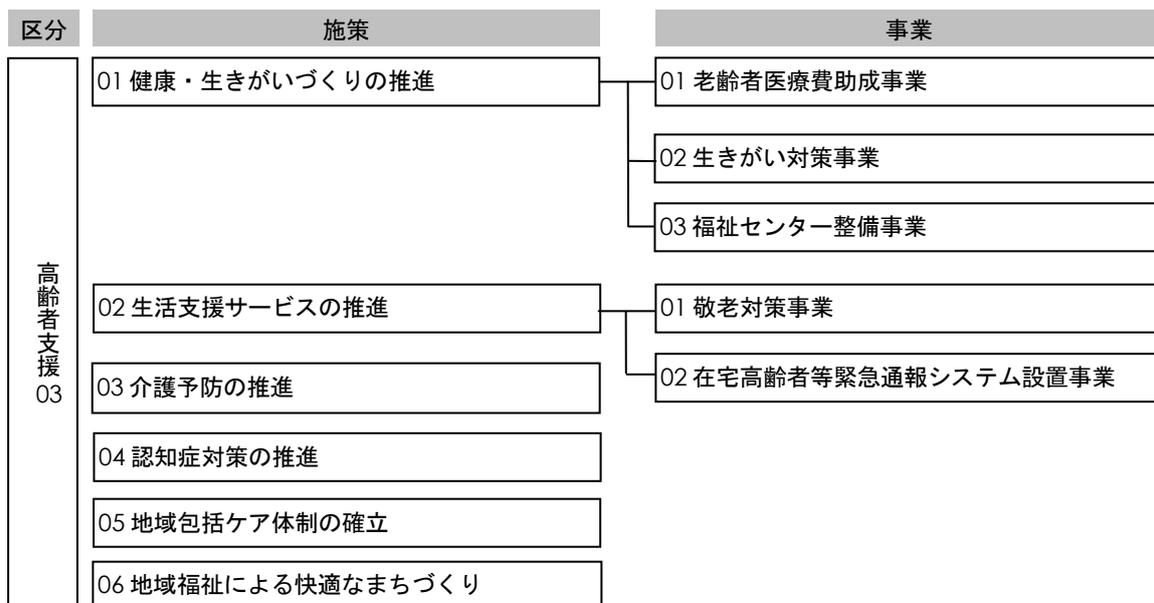
■幼稚園就園奨励事業 【事業No.01020703←No.02010101】再掲	担当部課係名	福祉部	児童保育課	ダイヤルイン	237-5092
			保育係		

3 高齢者支援

施策の基本的考え方

- 高齢者の生活習慣病等の予防や生活機能の低下を防止し、健康寿命の延伸を図るため、保健・予防事業等の推進、食育やウォーキングへの取り組み等、高齢者の自主的な健康づくりを支援する環境づくりに努めます。また、ボランティア活動や世代間・世代内の交流を促進し、高齢者が地域の担い手となり、自らの経験と知識を活かし、地域コミュニティの活性化や活力あふれる社会の創出に努めます。
- 福祉総合相談窓口や緊急通報システムの設置、様々な在宅福祉サービスなど、きめ細かな生活支援サービスの充実により、高齢者が住み慣れた地域で、孤立することのないよう、高齢者やその家族を支援し、いつまでも健康で自立した生活が出来るよう努めます。
- 高齢者が、要介護状態にならないことや介護状態となっても悪化を防ぐ「介護予防」の普及啓発を強化します。また、市内各地域において、元気な高齢者から介護状態となる恐れのある高齢者までを対象とした一体的な介護予防に取り組むことにより、高齢者を地域で支える意識の醸成に努めます。
- 認知症*高齢者が住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるよう、明るく活力ある高齢社会の構築を基本に、認知症に関する理解の醸成や発症予防、早期発見・早期対応と相談支援体制の確立、権利擁護の推進など、地域における連携体制の構築に努めます。
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が営めるよう、市内に設置した地域包括支援センター*の機能強化を図るとともに、医療・介護・予防・住宅・生活支援サービスが連携した「地域包括ケア」の仕組みが十分に機能する体制の整備と確立に努めます。
- 生活環境の整備や防災対策の推進を図るとともに、地域の生活課題に対する問題意識を共有し、関係団体の連携と住民参加により、誰もが安心して暮らせる環境づくりに努めます。

施策・事業の体系



01 健康・生きがいくりの推進

■高齢者医療費助成事業 【事業No.01030101】	担当部課係名	福祉部	高齢者福祉課	ダイヤル	237-5617
			医療係		

事業概要

- 65歳以上75歳未満の高齢者の医療費の軽減を図り、高齢者福祉の増進に寄与するため、疾病及び負傷により療養を受けた者に対して医療費の助成を行う。なお、本制度は、平成26年度末をもって廃止する。

現況と課題

- 70歳以上75歳未満の非課税世帯の対象者においては、国の財源措置により医療機関での本人窓口負担が1割となっている。
- 制度廃止に伴い、対象者となる市民への周知が課題である。

今後の事業展開

- 制度廃止に伴い、対象者へ個別通知をするとともに広報やホームページにおいても周知を図る。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H25~27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
市制度(65~75歳未満)による助成件数(件)	82,681	63,501	53,195	61,739	—		114,934
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H25~27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	168,359		99,868	151,074	12,549		

■生きがい対策事業 【事業No.01030102】	担当部課係名	福祉部	高齢者福祉課	ダイヤル	237-5613
			健康係		

事業概要

- 高齢者が知識と経験を生かし、地域社会における社会奉仕活動や創造的活動に参加し、老後の生きがいを高めるため、老人クラブ等の助成を行うとともに、高齢化社会を迎え、地域住民の主体的な参加の促進を図るため、地域の連携意識と福祉の心の醸成を図る。

現況と課題

- 各事業参加者数の確保が課題である。

今後の事業展開

- 老人クラブ連合会が、「高齢者の健康づくり事業」として取り組む「ふれあいウォーク」や「健康講演会」を支援し、健康づくりの定着を図る。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H25~27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
グラウンドゴルフ大会・高齢者スポーツ大会の参加者数(人)	1,222	1,178	1,350	1,400	1,450		4,200
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H25~27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	33,898		33,999	33,999	33,999		

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

■福祉センター整備事業 【事業No.01030103】	担当部課係名	福祉部	高齢者福祉課	ダイヤル	237-5613
			健康係		

事業概要

- 各福祉センターの地域バランスや市中央部の高齢化率のほか、相生小学校跡地利用委員会からの要望等を勘案し、旧相生小学校跡地に、福祉センターを整備する。

現況と課題

- ①関係部等との庁内協議・調整。 ②整備内容に関する相生地区との合意形成。 ③浴場組合との協議・調整。 ④埋蔵文化財調査において、本調査が必要とされた場合の対応。

今後の事業展開

- 高齢化が進む市中央部に福祉センターを整備する必要があることから、平成 25 年度中に実施設計、地質調査、埋蔵文化財調査等を行い、平成 26 年度において施設建設工事に着手し、平成 27 年 10 月の供用開始を目指す。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25～27)
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
整備工程進捗率(%)	—	20	40	80	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	—		42,909	333,000	172,000	

02 生活支援サービスの推進

■敬老対策事業 【事業No.01030201】	担当部課係名	福祉部	高齢者福祉課	ダイヤル	237-5613
			健康係		

事業概要

- ①敬老祝金支給事業
高齢者の長寿を祝福し、敬老精神の高揚を図り、高齢者福祉の増進に寄与することを目的とする。
- ②甲府市老人無料入浴事業
市内在住の高齢者（65 歳以上）に対して、心身の健康保持の向上、ふれあいの場として、公衆浴場を開放する。

現況と課題

- 敬老祝金支給事業については、平成 21 年度より 77 歳への支給を廃止する条例改正を行った。
- 老人無料入浴事業については、平成 21 年度より毎月 1 回実施していた無料入浴を、年 4 回に変更した。

今後の事業展開

- 山梨県が平成 24 年度より「県民敬老祝金等支給事業」の廃止を決定したため、今後は県内の他市町村の動向もみながら見直しを検討していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
敬老祝金支給者数 (人)	915	1,002	1,060	1,160	1,245	3,465
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	9,553		9,806	11,050	10,925	

■在宅高齢者等緊急通報システム設置事業 【事業No.01030202】	担当部課係名	福祉部	高齢者福祉課 健康係	ダイヤル	237- 5613
--	--------	-----	---------------	------	--------------

事業概要

- 市内に住所を有する 65 歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者や重度身体障害者に緊急通報システム（ふれあいペンダント）の機器を貸与し、消防署と連絡を密にしながら、緊急時に迅速な対応を図る。

現況と課題

- 緊急通報以外の、根本的な装置の誤操作や、不安による相談等により、本来の消防本部での通報対応業務に支障を来すことがある。

今後の事業展開

- 現在のシステムの維持、管理及び、新規設置要望高齢者への迅速な設置を進めるとともに、携帯電話など新たなシステムの活用について、継続して研究を行う。

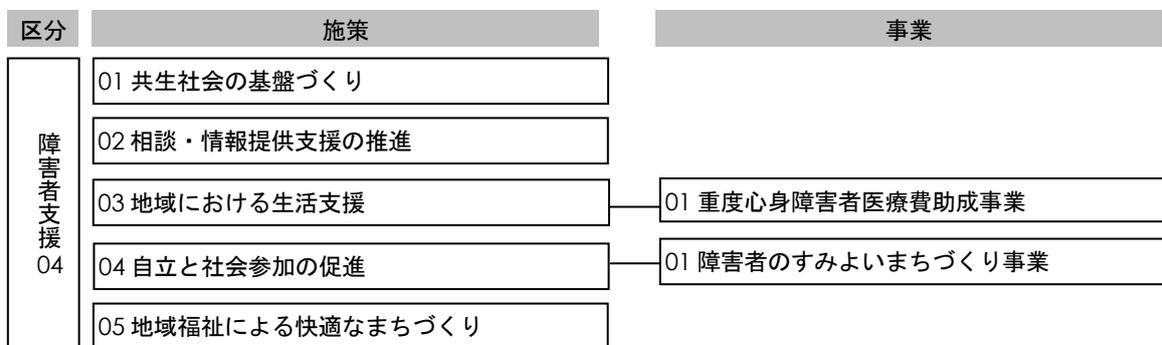
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
緊急通報システム利用者数 (人)	1,095	1,080	1,200	1,200	1,200	3,600
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	21,247		21,278	21,308	22,608	

4 障害者支援

施策の基本的考え方

- 年齢や障害の有無等にかかわらず、互いに理解と信頼を深め、一緒に助け合いながら暮らしていく共生社会の実現を目指し、ノーマライゼーション*理念の普及・啓発に努め、相互理解を促進します。また、障害者団体、ボランティア、NPO*等との連携を図り、障害者がいきいきと生活できる環境づくりを推進します。
- 障害の程度や生活の状況に応じたサービスを自らが適切に選択し、利用できるように相談や支援を行います。また、身近な生活の相談から障害福祉サービスにいたるまで、関係機関との連携を図り、障害者本人を中心とした相談や情報提供などの支援を推進します。
- 住み慣れた家庭や地域で障害者が暮らせるよう、日常生活を営むうえで必要な在宅サービスなどの提供に努めるとともに、個々の状況に応じて利用できる施設サービスを提供します。また、健康診査や健康相談などの実施により、障害の早期把握に努め、状態に応じた適切な支援を提供します。
- 障害者の多様な可能性を最大限に活かし、地域において自立した日常生活を営むことができるよう、教育機関や就労機関等との連携を図り支援します。また、外出の際の移動などの支援により、社会活動に参加しやすい環境づくりに努めます。
- 生活環境の整備や防災対策の推進を図るとともに、地域の生活課題に対する問題意識を共有し、関係団体の連携と住民参加により、誰もが安心して暮らせる環境づくりに努めます。

施策・事業の体系



03 地域における生活支援

■重度心身障害者医療費助成事業 【事業No.01040301】	担当部課係名	福祉部	障害福祉課	ダイヤル	237-5642
			医療支援係		

事業概要

- 重度心身障害者及びその保護者の精神的かつ経済的負担を軽減し、重度心身障害者の健康の維持・増進を図る。

現況と課題

- 保険制度の改正が頻繁に行われていることから、情報収集に努め、当事業を適正に実施する。

今後の事業展開

- 山梨県が窓口無料制度から自動還付制度に変更する方針を打ち出しているため、対象者の負担や市業務への影響の把握に努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
給付者数(人)	6,382	6,537	6,699	6,861	7,023	20,583
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	799,646		796,595	843,285	863,148	

04 自立と社会参加の促進

■障害者のすみよいまちづくり事業 【事業No.01040401】	担当部課係名	福祉部	障害福祉課	ダイヤル	237-5642
			医療支援係		

事業概要

- 重度心身障害者へのタクシー利用料金の助成、甲府駅南口のエスカレーターや車いす用昇降機（エスカル）の運行管理等により、障害者の社会参加の促進と生活圏の拡大を図る。

現況と課題

- 障害者が利用しやすい事業となるよう、平成 23 年度からタクシー券 1 枚あたりの助成額を増額する見直しを行った。また、助成対象者に精神障害者保健福祉手帳 1 級の所持者を加えることで、公平な助成が行えるよう見直しを行った。

今後の事業展開

- エスカレーターの運行管理等については、費用負担を含め、県等関係機関と協議を進めていく。また、甲府駅南口周辺地域修景計画や駅北口エスカレーターとの兼ね合いも含める中で、関係部署と調整を図りながら、「障害者が利用しやすい甲府駅南口」を総合的に検討していく。

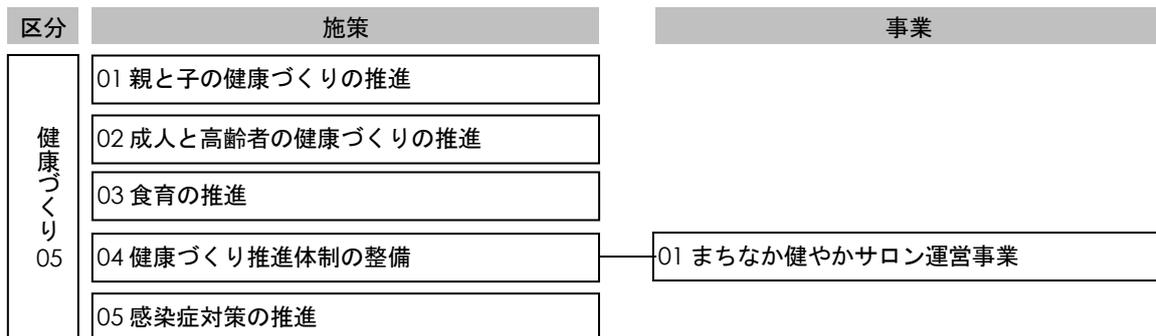
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H25～27)
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
タクシー利用券利用率 (%)	56.6	56.6	65.0	65.0	65.0	65.0
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	28,209		28,234	28,674	29,114	

5 健康づくり

施策の基本的考え方

- 安心安全な出産、子どもの健やかな成長と発達、育児不安の軽減などを図りながら、健全な親子関係を築くことを目的として、きめ細やかな母子保健事業の充実に努めます。また、地域における子育てを支援し、心身共に健やかに子どもが成長していくための支援をします。
- 健康寿命の延伸を図るため、自覚症状の乏しい生活習慣病等を健診等により早期に発見するとともに、望ましい生活習慣への改善が図れるように支援します。また、健康づくりの地区組織等と協力して、市民自らが健康についての理解と関心を深め、健やかで心豊かな生活が送れるように支援します。
- 食育の推進をライフステージごとに適切かつ継続的に行っていくことにより、健全な食生活を送る中で、市民の健康の増進を図ります。
- 地域ボランティアと協力して地域住民の健康意識を高めるとともに、地域ボランティアの人材育成を図り、地域における健康づくり活動を推進します。また、保健サービス向上のための基盤整備の充実に努めるとともに、その有効活用を努め、市民の健康づくりを支援します。
- 感染症の予防に努めるとともに、感染症の拡大を防ぎ、市民の健康及び生命の安全を守ります。

施策・事業の体系



04 健康づくり推進体制の整備

■まちなか健やかサロン運営事業 【事業No.01050401】	担当部課係名	福祉部	健康衛生課	ダイヤル	237- 2586
			保健係		

事業概要

- 中心市街地の活性化と市民の健康づくりの拠点として「まちなか健やかサロン」を岡島百貨店6階に設置し、健康相談、各種健康教室等を実施することにより、健康に関する普及啓発と市民の健康増進を図る。

現況と課題

- 買い物ついでなど気軽に利用できる利点を生かし、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢の市民の健康相談や教室への参加・交流等に活用されている。

今後の事業展開

- 市民周知の工夫を行うとともに、利用実績や市民要望を踏まえ、健康教室等の充実により、一層の利用促進と満足度の高いサービス提供を図る。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H25~27)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
健康相談者数 (人)	5,441	5,800	6,000	6,000	6,000				18,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)						計画額合計 (H25~27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	9,888		9,888	9,888	9,888				29,664

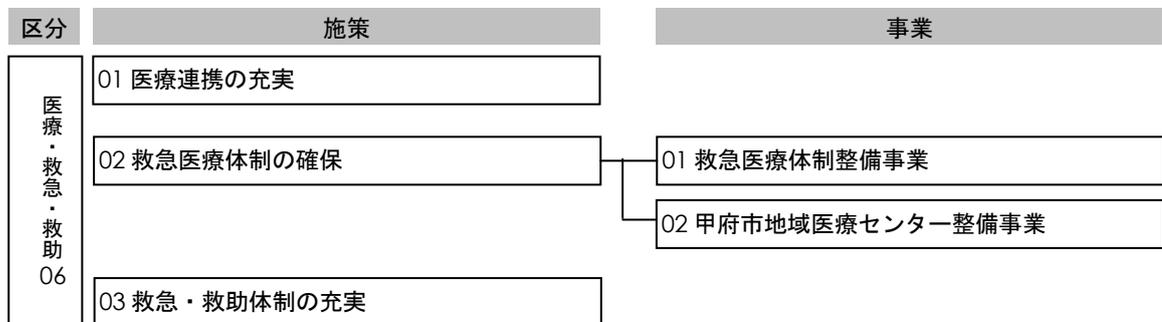
6 医療・救急・救助

施策の基本的考え方

- 医療圏*内の各診療所との病診連携や、他の公的病院との機能分担を含めた病院連携を推進し、地域における医療支援体制の確立に努めます。
- 休日及び平日夜間における初期救急及び二次救急の診療体制を整え、市民の医療を確保します。
- 救急隊の適正配置や救急医療機関との連携による円滑な救急業務体制の構築、高度救命処置用資器材の整備などによる救急業務の高度化の推進、市民への応急手当の知識・技術の普及促進により救急体制の充実に努めます。

また、特別救助隊の充実強化に努めるとともに、高度な救助技術の取得など、隊員の教育訓練の充実に努めます。

施策・事業の体系



02 救急医療体制の確保

■救急医療体制整備事業 【事業No.01060201】	担当部課係名	福祉部	健康衛生課	ダイヤルイン	237-2587
			予防衛生係		

事業概要

- 休日及び夜間の救急診療体制を整備し、地域住民への救急医療の確保を図る。

現況と課題

- 甲府市医師会救急医療センター補助金については、毎年度構成市町の人口割合による負担割合の見直しを実施し、費用負担の適正化に努めている。
- 軽い症状で緊急性の低い方に救急診療の受診を控えていただくため、ポスター、リーフレット及び小児救急ガイドブック等の活用を図りながら、救急医療の適正な受診の啓発に努めている。

今後の事業展開

- 救急医療体制が常時十分に整備されるよう継続的に事業を実施する。
- 本市及び構成市町で費用負担の見直しが可能な補助事業について、引き続き検討する。
- 救急の利用において、軽い症状で緊急性の低い方の受診が引き続き多く見受けられることから、より詳細に実態を把握し、こども救急ガイドブックの配布等による啓発活動を展開し、安定した医療体制の確保を目指す。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
甲府市医師会救急医療センター利用者数(人)	10,277	9,977	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	152,671		153,819	153,819	153,819	

■甲府市地域医療センター整備事業 【事業No.01060202】	担当部課係名	福祉部	総務課	ダイヤルイン	237-5072
			地域医療係		

事業概要

- 初期救急医療機能の充実・強化を図るため、医療福祉会館に導入が図られている医療機能等を再編し施設整備を行う。

現況と課題

- 患者の専門医志向や感染症の流行により、救急医療センター及び小児初期救急医療センター等の初期救急医療施設を利用する患者は年々増加している。
こうしたなか、施設の老朽化や感染症対応の診察室等が未整備の状況にあり、また大規模災害時における対応機能の強化が求められていることから、施設の整備を早急に行う必要がある。

今後の事業展開

- 救急医療センター及び小児初期救急医療センター等の初期救急医療施設を導入している医療福祉会館を、患者がより安心して適切な医療を受けられるよう、甲府市地域医療センターとして平成 26 年 4 月を目途に再編整備する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
甲府市医師会救急医療センター利用者数(人)	10,277	9,977	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
	39,524		1,025,918	209,354	—	

7 国民健康保険

施策の基本的考え方

- 口座振替制度の積極的な奨励、収納体制の強化、滞納未然防止の広報活動、長期滞納者への対策の強化などにより、保険料収入の確保に努めます。
- レセプト点検*の強化による適正な診療報酬支払を推進するとともに、重複・頻回多受診者などに対する適正受診の指導や、第三者行為の発見、ジェネリック医薬品*の使用促進など被保険者の医療費及び健康に対する意識の啓発に努めて、医療費の適正化を図ります。
- 特定健診・特定保健指導、人間ドック*・簡易脳ドック・歯科健診・歯科講習等を通じて、疾病の早期発見と予防に努めます。

施策・事業の体系

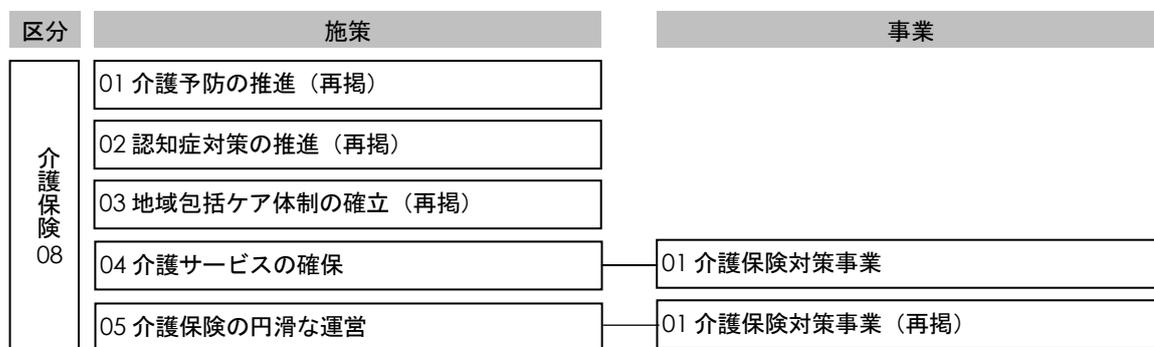
区分	施策	事業
国民健康保険 07	01 経営の健全化	
	02 医療費の適正化	
	03 健康管理対策の充実	

8 介護保険

施策の基本的考え方

- 高齢者が、要介護状態にならないことや介護状態となっても悪化を防ぐ「介護予防」の普及啓発を強化します。また、市内各地域において、元気な高齢者から介護状態となる恐れのある高齢者までを対象とした一体的な介護予防に取り組むことにより、高齢者を地域で支える意識の醸成に努めます。
- 認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるよう、明るく活力ある高齢社会の構築を基本に、認知症に関する理解の醸成や発症予防、早期発見・早期対応と相談支援体制の確立、権利擁護の推進など、地域における連携体制の構築に努めます。
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が営めるよう、市内に設置した地域包括支援センターの機能強化を図るとともに、医療・介護・予防・住宅・生活支援サービスが連携した「地域包括ケア」の仕組みが十分に機能する体制の整備と確立に努めます。
- 介護を必要とする状態となっても、できる限り住み慣れた地域や家族で、個人の尊厳を保ちながら、安心して暮らし続けることができるよう、要介護者等の心身の状態やおかれている環境に応じた介護サービスの確保を図るとともに、介護サービス基盤の整備・充実に努めます。
- 介護保険事業を円滑に運営するため、制度の持続可能性を確保するとともに、制度の周知と啓発に努めながら、適切なサービスの提供及び質の向上を更に高め、介護が必要な方が安心して利用できる環境の整備に努めます。

施策・事業の体系



04 介護サービスの確保

■介護保険対策事業 【事業No.01080401】	担当部課係名	福祉部	介護保険課	ダイヤル	237-5473
			経営係・保険給付係		

事業概要

- ①低所得者対策：低所得高齢者及び障害者が、経済的な理由により介護サービスの利用を控えることがないよう、利用者負担の軽減、助成等の措置を行う。
- ②地域密着型サービス拠点の整備：第5次介護保険事業計画で定めた平成26年度までのサービス見込量に基づき、地域密着型サービス拠点の施設整備を行う民間事業者に対し、補助金を交付し、整備の促進を図る。

現況と課題

- ①低所得者対策：通所サービス利用者負担額助成事業については、申請件数の更なる増加を図るため、平成24年度より、甲府市広報への掲載や、通所サービス事業所へ制度周知に係るポスターを配布するなど、助成制度のPRに努めている。
- ②地域密着型サービス拠点の整備：既存サービスとともに、新サービスである定期巡回・随時対応型訪問介護看護や複合型サービスについても、計画に基づいて整備を図っていく必要がある。

今後の事業展開

- ①低所得者にとって、厳しい社会状況となっている中、低所得者の利用を支援する本事業の必要性は高い。今後も国・県などに要望をしていく一方で、引き続き支援を行っていく。
- ②第5次介護保険事業計画のサービス見込量に基づき、新サービスも含めサービス提供の機会の確保に努めると共に、地域包括ケア体制を担うための日常生活圏域に沿った速やかな計画推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H25～27)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
要介護者等利用者負担助成事業及び通所サービス利用者食費負担額助成事業における件数(件)	5,879	5,879	5,879	5,879	5,879	17,637
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H25～27)
	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	18,828		499,477	18,271	18,271	

05 介護保険の円滑な運営

■介護保険対策事業 【事業No.01080501←No.01080401】再掲	担当部課係名	福祉部	介護保険課	ダイヤル	237-5473
			経営係・保険給付係		

9 国民年金

施策の基本的考え方

- 日本年金機構などとの協力・連携のもと、制度の周知啓発に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
国民年金 09	01 市民の受給権確保	